

sawai

THE TOP BRAND IN GENERICS

sawai **TODAY**

第 66 期 株 主 通 信
2013年4月1日～2014年3月31日



証券コード 4555

なによりも患者さんのために
沢井製薬株式会社

第66期のハイライト

sawai

企業理念

なによりも患者さんのために

1

「真心をこめた医薬品を通じ、
人々の健やかな暮らしを実現する」
それがsawaiの使命です。

2

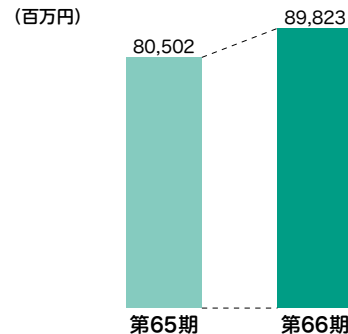
「創造性を追求し、革新と協調により
社会と共に成長する」
それがsawaiの挑戦です。

3

「お役に立ちたいという心を持ち、
なくてはならない存在になる」
それがsawaiの願いです。

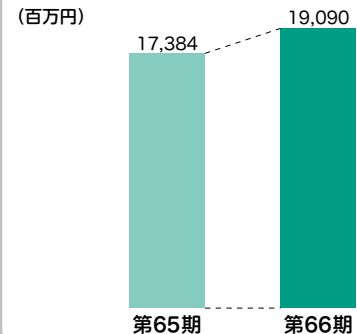
売上高

ジェネリック医薬品使用促進の
制度改正がない中、
売上高は前期比11.6%増の
89,823百万円となりました。



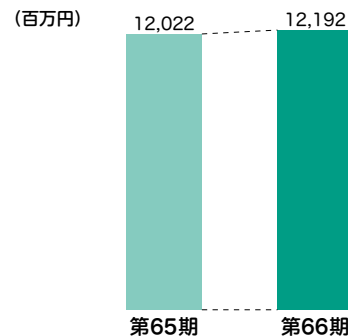
営業利益

営業利益は2015年3月期からの
販社手数料支払方法の変更に伴う
引当増等により、前期比9.8%増の
19,090百万円にとどまりました。



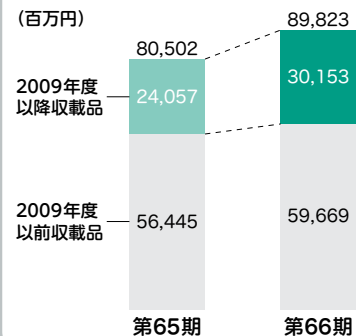
純利益

当期純利益は前期比1.4%増の
12,192百万円となりました。



収載品年度別売上

新製品の順調な売上加え、
2009年度以降収載品の売上が
前期比25.3%増となり、
売上高増に大きく寄与しました。



ごあいさつと業績のご報告

中期経営計画「M1 TRUST 2015」の 着実な取組みにより、売上高、 利益ともに過去最高を更新しました。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げますとともに、日頃からのご支援に厚く御礼申し上げます。

第66期(2014年3月期)のジェネリック医薬品業界においては、2013年4月に厚生労働省から「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表され、「ジェネリック医薬品の数量シェアを2018年3月末までに60%以上にする」という目標が設定され、引き続きジェネリック医薬品の使用促進が力強く推し進められることが明確となりました。

このような状況のもと、当社グループでは2年目を迎えた中期経営計画「M1 TRUST 2015」の基本方針に沿って、各部門が掲げた施策に積極的に取り組みました。新製品では6月に5成分9品目、12月には7成分14品目を上市し、積極的な販売活動に努めた結果、新製品の売上は順調に推移しました。また、卸・販売会社に、安定供給力や品質などの当社の強みや製品に関する情報提供を確実に行うとともに、保険薬局市場ならびに病院市場の深耕にも努めました。

2013年3月に稼働を開始した関東工場の新製剤工場では、順次、他工場からの製品移管を受け、稼働率を向上させるとともに、将来のジェネリック医薬品の需要拡大を見越し、設備投資計画を1年前倒して第2期工事に着手し、安定供給体制をさらに強化します。これにより、当社全体で年間100億錠の生産体制を早期に構築する



代表取締役会長

澤井 弘行

代表取締役社長

澤井 光郎

こととなります。

これらの結果、当期の売上高は89,823百万円(前期比11.6%増)、営業利益は19,090百万円(同9.8%増)、経常利益は19,091百万円(同8.5%増)、当期純利益は12,192百万円(同1.4%増)となり、いずれも過去最高を更新しました。

第67期(2015年3月期)は、中期経営計画の最終年度にあたり、その目標達成のための取組みを全社を挙げて推進していきます。しかしながら、薬価改定に加え、2014年4月に実施された薬価制度改革や為替動向など、経営環境の変化による影響は予断を許しません。新製品の開発力、安定供給力、品質への信頼性、情報提供力、ブランド力など当社グループの強みを一層強化し、健全な経営に努めてまいります。

今後も、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2014年3月期の
着実な成果をもとに、
中期経営計画「M1 TRUST 2015」の
目標達成に、全社を挙げて
取り組んでいきます。

2014年3月期の取組みと業績

2014年3月期においては、2013年4月に厚生労働省から「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表されたものの、具体的な使用促進策や制度改革はなく、当社は自助努力による売上の拡大に取り組みました。

6月に上市した代謝拮抗剤（抗がん剤）「エスエーワン配合カプセル」と抗血小板剤「シロスタゾールOD錠」は、製造販売承認を持つメーカーが各々他に1社しか無い製品であり、当社の開発力の高さをアピールすることができました。また、12月に上市した「ピタバスタチンCa錠」は、20社以上が参入する競合品目でしたが、高コレステロール血症治療剤市場における当社のこれまでの実績と安定供給力を背景に順調に売上を伸ばしました。その結果、2013年度新製品の売上は、計画を大きく上回るものとなりました。

また、卸・販売会社との連携を一層強化したことで、2009年度以降収載品が大きく売上を伸ばすとともに、2005年度以降収載品の売上も順調に拡大しました。また、保険薬局市場ならびに病院市場の深耕に努め、薬局向けに加え病院向け売上も増加しました。生産部門は休日稼働で増産対応し、好調な販売を支えました。

これらの結果、2013年度の業績は、売上高、営業利益、当期利益のいずれも過去最高となり14期連続増収、6期連続増益を達成することが出来ました。

中期経営計画「M1 TRUST 2015」の進捗

当社は、2012年5月に公表の中期経営計画「M1 TRUST 2015」において、2015年3月期に売上高1,040億円、営業利益210億円、当期純利益135億円、ROE16.7%の達成を目標としています。

▶実績と2015年3月期予想

(百万円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期	
			中計公表値	今回予想値
売上高	80,502	89,823	104,000	106,000
営業利益	17,384	19,090	21,000	21,000
経常利益	17,601	19,091	21,000	20,900
当期純利益	12,022	12,192	13,500	13,500

同計画は順調に進捗しているものの、計画策定時より、円安の影響で一部、原材料の調達コストが上昇していることや、今後の需要拡大に対応するために設備投資を前倒ししていること、それに伴う減価償却費の増加等を鑑み、今回、中期経営計画の最終年度における目標を修正しました。2015年3月期の売上高目標は1,060億円へ引き上げる一方で、営業利益と当期純利益の目標は各々210億円、135億円と、中計の目標値を据え置いています。

今後の取組み

ジェネリック医薬品業界においては、平成26年度診療報酬改定（P5参照）におけるジェネリック医薬品使用促進策に、消費税増税による患者さんの節約意識の高まりも加わり、ジェネリック医薬品の販売数量の大幅な増加が見込まれます。しかしながら、薬価制度改革の影響は大きく、ジェネリック医薬品業界の経営環境はこれまでより一層厳しくなるものと見ています。こうした環境変化に対し、これまで以上に製品ごとの販売戦略をきめ細かく実践するとともに、当社の強みである安定供給、品質、研究開発力等を武器として、安易な価格競争に巻き込まれることなく、持続的な成長を目指します。既に関東

工場の第2期工事に着手済みですが、今期は機械設備の増設等を本格化し、当社の年間生産能力100億錠体制の実現により安定供給の確立を図ります。また、新たな製剤開発、工業化検討の拠点として、「開発センター」を大阪府吹田市に建設することを決定するなど、将来を見据えた積極的な設備投資を行っていきます。

資本政策と株主様への利益還元

資本政策については、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るべく、2013年9月30日を基準日として、普通株式1株に対して2株の割合をもって株式分割を実施しました。また、2010年9月発行のユーロ円建転換社債型新株予約権付社債に関しては、2013年11月末までにその大半が普通株式に転換しました。

当期の配当については、中間配当は株式分割前1株当たり90円、期末配当は直近の予想より5円増配し、株式分割後1株当たり50円とさせていただきます。次期の配当については、中間、期末ともに1株当たり50円を予定し、6期連続増配を目指します。今後も、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営環境 平成26年度診療報酬改定

2014年4月、保険薬局における後発医薬品調剤体制加算ルールの見直しや、DPC病院における「後発医薬品指数」などのジェネリック医薬品使用促進策が導入されました。薬価に関しては、ジェネリック医薬品への置き

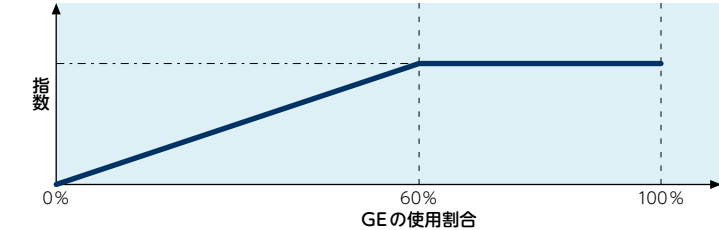
換え率に応じた長期収載品の「特例的な引き下げ」の導入や新規収載ジェネリック医薬品の薬価の引き下げ、既収載ジェネリック医薬品の薬価の3価格帯への集約などの改革が実施されました。

▶ 1. 主なジェネリック医薬品 (GE) 使用促進策

(1) 後発医薬品調剤体制加算

改革前		改革後	
後発医薬品調剤体制加算1	22%以上 5点	後発医薬品調剤体制加算1	55%以上 18点
後発医薬品調剤体制加算2	30%以上 15点	後発医薬品調剤体制加算2	65%以上 22点
後発医薬品調剤体制加算3	35%以上 19点	廃止	
旧指標の数量シェア＝GE／全医薬品 (「経腸成分栄養剤」、「特殊ミルク製剤」、「生薬」、及び「漢方」を除く。)		新指標の数量シェア＝GE／(GEのある先発医薬品＋GE) (但し、調剤した数量に占めるGE及びGEのある先発医薬品の合計数量の割合が50%以上であること。)	

(2) 後発医薬品指数



DPC病院に、機能評価係数Ⅱの1つとして、「後発医薬品指数」を導入。
⇒入院医療で用いられる薬剤について、
GEの数量シェア＝GE／(GEのある先発医薬品＋GE)
により評価(但し、数量ベースで評価上限は60%)。

▶ 2. 主な薬価制度改革 (GE関連)

	改革前			改革後		
新規収載 GE	先発品の薬価×100分の70 但し、銘柄数が10を超える内用薬については100分の60			先発品の薬価×100分の60 但し、銘柄数が10を超える内用薬については100分の50 (尚、バイオ後続品は従前どおり)		
既収載 GE	市場実勢価格に基づく算定値の最高価格に対する割合			市場実勢価格に基づく算定値の最高価格に対する割合		
	20%未満 低薬価品群	20%～30% 準低薬価品群	30%以上 —	30%未満 低薬価品群	30%～50% 準低薬価品群	50%以上 その他の後発品群
	加重平均統一価格	加重平均統一価格	3%ごと加重平均統一価格	加重平均統一価格	加重平均統一価格	加重平均統一価格
	統一名収載	銘柄別収載	銘柄別収載	統一名収載	銘柄別収載	銘柄別収載

研究開発 6月に、6成分11品目の新製品を発売

先発品の売上高が900億円規模もあるバルサルタンのような大型製品には多くのジェネリックメーカーが参入します。当社では、そういった製品だけでなく、他社が手掛けないような製品の開発にも取り組んでいます。例えば、カルベジロール錠(1.25mgおよび2.5mg)は当社1社の

▶主要新製品

薬効分類名	製品名	製剤写真
血圧降下剤	バルサルタン錠20mg・錠40mg ・錠80mg・錠160mg「サワイ」	
血圧降下剤	ロサルヒド配合錠LD「サワイ」	
徐放性気道潤滑去痰剤	アンブロキソール塩酸塩徐放 OD錠45mg「サワイ」	
慢性心不全治療剤	カルベジロール錠1.25mg ・錠2.5mg「サワイ」	

みの販売であるため、競合が少ない製品です。

また、アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠は、先発品にも無い剤形であり、患者さんにとって大変利便性の高い製品です。このような当社の製品開発力が、他社との差別化ひいては競争力の強さにつながっています。

薬効分類名	製品名	製剤写真
骨吸収抑制剤	ゾレドロン酸点滴静注液 4mg／5mL「サワイ」	
抗がん剤	ドセタキセル点滴静注液20mg／ 1mL・点滴静注液80mg／4mL 「サワイ」	

社会貢献 当社1社提供番組「医のココロ」関西圏でスタート

当社では疾病啓発を目的とした医療情報番組への提供を積極的に行っていますが、2014年4月からは毎日放送の新番組「医のココロ」への1社提供を開始しました。同番組は視聴者が気になっている疾患について、地域医療に接し様々な形で社会貢献をおこなっている医療関係者に解説いただくことで、その疾患に対する正しい知識を得ていただく医療情報番組です。当社はその番組趣旨に共感し、社会貢献の一環として、番組提供をするものです。



毎日放送(関西地区)にて
毎週土曜日朝5時35分より
放送中!



 当社ホームページにて動画公開中!

<http://www.sawai.co.jp/company/environment/healthcare/iryuu>

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表 (百万円)

	前連結会計年度 2013年3月31日	当連結会計年度 2014年3月31日
【資産の部】		
流動資産	79,435	96,054
現金及び預金	20,583	25,536
受取手形及び売掛金	26,593	28,771
たな卸資産	29,529	39,183
その他の流動資産	2,729	2,563
固定資産	48,407	53,294
有形固定資産	44,102	47,841
無形固定資産	1,956	1,847
投資その他の資産	2,348	3,604
資産合計	127,842	149,348
【負債の部】		
流動負債	30,105	39,097
固定負債	36,257	8,948
負債合計	66,363	48,046
【純資産の部】		
株主資本	61,089	100,746
資本金	11,959	27,106
資本剰余金	12,293	27,505
利益剰余金	43,308	52,490
自己株式	△ 6,471	△ 6,356
その他の包括利益累計額	334	486
新株予約権	45	68
少数株主持分	9	0
純資産合計	61,479	101,302
負債・純資産合計	127,842	149,348

※当連結会計年度中、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債300億円の大半が株式転換しております。

連結損益計算書 (百万円)

	前連結会計年度 自 2012年 4月 1日 至 2013年 3月31日	当連結会計年度 自 2013年 4月 1日 至 2014年 3月31日
売上高	80,502	89,823
売上原価	42,510	48,352
売上総利益	37,991	41,470
販売費及び一般管理費	20,607	22,380
営業利益	17,384	19,090
営業外収益	497	320
営業外費用	280	319
経常利益	17,601	19,091
特別利益	853	4
特別損失	357	106
税金等調整前当期純利益	18,097	18,989
法人税等	6,075	6,797
少数株主損益調整前当期純利益	12,022	12,192
少数株主利益	0	△ 0
当期純利益	12,022	12,192

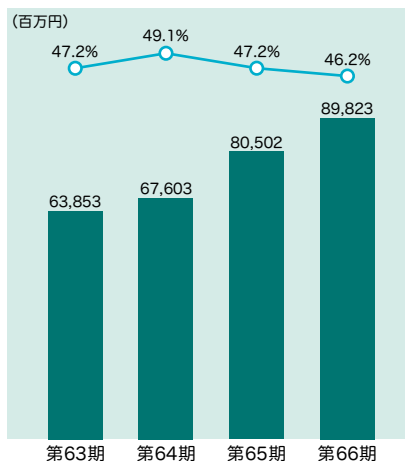
連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

	前連結会計年度 自 2012年 4月 1日 至 2013年 3月31日	当連結会計年度 自 2013年 4月 1日 至 2014年 3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,255	13,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,373	△ 8,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,969	△ 178
現金及び現金同等物の増減額	△ 86	4,961
現金及び現金同等物の期首残高	20,670	20,583
現金及び現金同等物の期末残高	20,583	25,536

業績ハイライト

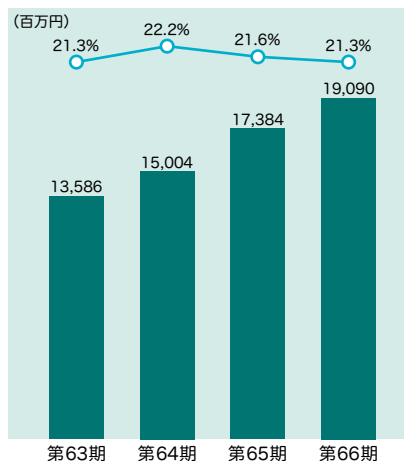
売上高／売上高総利益率

売上高 ■(通期) 売上高総利益率 ○



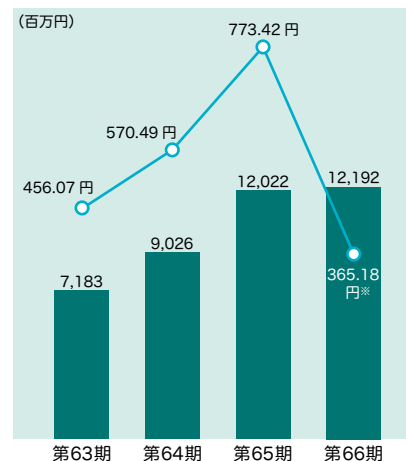
営業利益／営業利益率

営業利益 ■(通期) 営業利益率 ○



当期純利益／1株当たり純利益

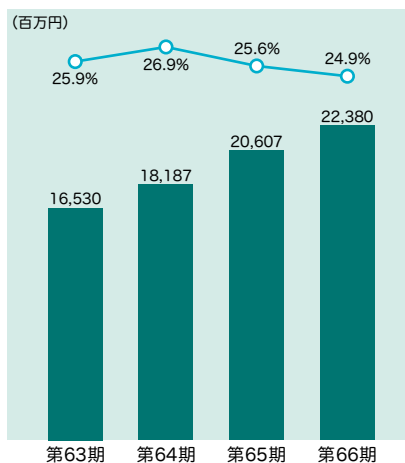
当期純利益 ■ 1株当たり純利益 ○



※一株当たり情報は66期の期首に株式分割が行われたと仮定し算出。

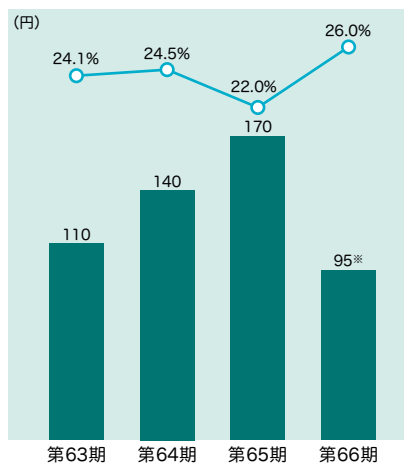
販売管理費／売上高販管費率

販売管理費 ■(通期) 売上高販管費率 ○



1株当たり配当／配当性向

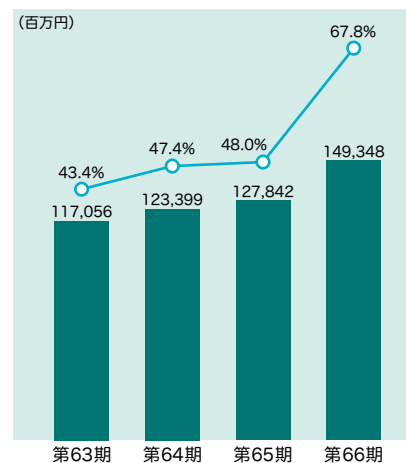
1株当たり配当 ■(通期) 配当性向 ○



※一株当たり情報は66期の期首に株式分割が行われたと仮定し算出。

総資産／自己資本比率

総資産 ■ 自己資本比率 ○



会社概要

会社の概要 (2014年3月31日現在)

社 名	沢井製薬株式会社		
創 業	1929年4月1日		
設 立	1948年7月1日		
資 本 金	271億677万円		
従 業 員 数	1,121名(連結)		
事 業 内 容	医薬品の製造販売および輸出入		
販 売 品 目	生活習慣病(高血圧症、脂質異常症、糖尿病等)治療剤、 抗がん剤など医療用医薬品約620品目および一般用医薬品		
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行		
ご 採 用 先	国立病院など全国約7,600病院(カバー率約89%)、 約33,000医院・診療所(約32%)、および 約54,000保険薬局(約91%)		
特約店および 販 売 代 理 店	特 約 店	アルフレッサ(株)、(株)スズケン、東邦薬品(株)、 (株)メディセオほか広域卸約30社	
	販売代理店	西部沢井薬品(株)ほか販売会社約120社、海外1社	
提 携 会 社	旭化成ファーマ(株)、積水メディカル(株)、田辺三菱製薬(株)、 日本化薬(株)、バイエル薬品(株)、扶桑薬品工業(株)、 Meiji Seika ファルマ(株)ほか		

取締役・執行役員 (2014年6月25日現在)

代 表 取 締 役 会 長	澤井 弘行	社 外 監 査 役	高橋 孝志
代 表 取 締 役 社 長	澤井 光郎	社 外 監 査 役	小林 俊明
取締役常務執行役員	岩佐 孝		
取締役常務執行役員	戸谷 治雅	上 席 執 行 役 員	稲荷 恭三
取締役常務執行役員	木村 圭一	上 席 執 行 役 員	高橋 嘉輝
取締役常務執行役員	小玉 稔	執 行 役 員	神 真喜夫
取締役常務執行役員	澤井 健造	執 行 役 員	徳永 雄二
取締役常務執行役員	徳山 慎一	執 行 役 員	末吉 一彦
社 外 取 締 役	菅尾 英文	執 行 役 員	佐々木雅啓
常 勤 監 査 役	松永 秀嗣	執 行 役 員	濱田 輝
監 査 役	澤井 武清		

本社・事業所・グループ会社 (2014年3月31日現在)

本社・研究所	大阪市淀川区宮原5丁目2-30		
支 店	札幌、仙台、北関東、東京第一、東京第二、名古屋、大阪、広島、福岡		
営 業 所	長野、東京西、横浜、千葉、静岡、京都、神戸、北陸、高松、岡山、熊本		
工場・研究所	関東工場、大阪工場、三田工場、九州工場、第二九州工場、 化研生薬八郷工場、製剤技術センター		
子 会 社	メディサ新薬株式会社、化研生薬株式会社		

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
単 元 株 式 数	100株
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行うときは毎年9月30日
基 準 日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
	取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公 告 方 法	電子公告としております。ただし、事故やその他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※ 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.sawai.co.jp/ir/index.html

「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をなされる際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。(株式数比例配分方式を選択されている株主様は除きます。)

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※ 確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株式情報 (2014年3月31日現在)

株式状況

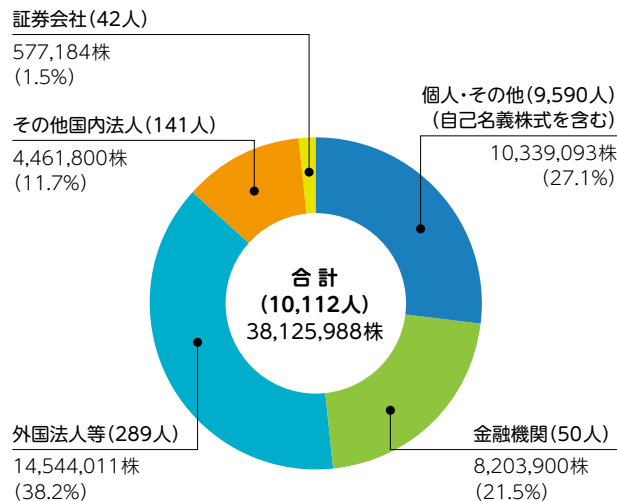
発行可能株式の総数	77,600,000株
発行済株式の総数	38,125,988株
1単元の株式の数	100株
株主数	10,112名

大株主

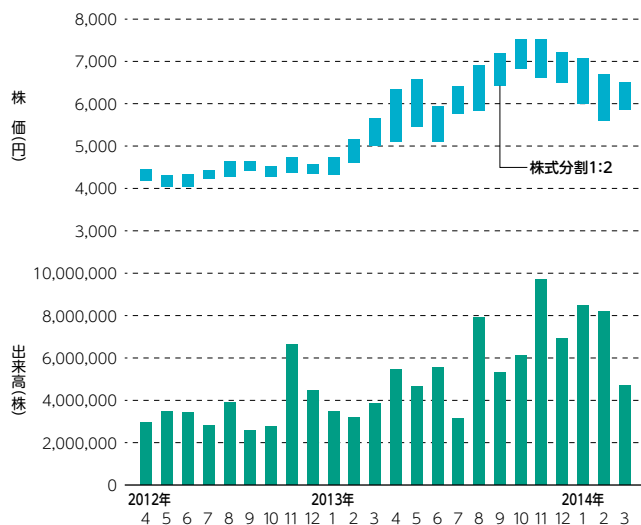
株主名	持株数
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,181,900株
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,787,200株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,576,700株
メロン バンク トリーティー クライアンツ オムニバス	1,434,267株
サワケン株式会社	994,000株
澤井 光郎	948,200株
澤井 健造	854,000株
株式会社三井住友銀行	650,000株
住友商事株式会社	633,200株
澤井 弘行	631,700株

(注)当社は自己株式1,299,467株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株式分布状況



株価(高値・安値)および出来高の推移



※株式分割前の株価および出来高情報は、株式分割が行われたと仮定して算出。

コミュニケーション広場



健やかな将来へのヒントをお届けする健康情報サイト、
「サワイ健康推進課」を開設。



2013年10月より、当社の新健康情報サイト「サワイ健康推進課」がオープン。3人のキャラクターが健康増進に、日本の医療費節減に役立つ情報を発信していきます。



毎月28日更新、
旬な健康情報をお届けします。

従来の健康情報サイト「健康かけいば」を全面的にリニューアルし、「明日にサがつく健康情報サイト『サワイ健康推進課』」として新たにスタート。毎月28日に更新、旬なテーマで情報をお届けします。

人気の「カラダの豆事典」や「おばあちゃんの知恵袋」は継続し、最新の医療ニュースや美味しくて健康にも良いレシピの紹介、ちょっとした合間にできる健康法など、体に役立つ情報が新たに仲間入り。

スマートフォンやタブレット端末からのアクセスも可能です。ぜひブックマークしてお読みください！



沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30 〒532-0003
TEL: 06-6105-5711 FAX: 06-6394-7311
URL: <http://www.sawai.co.jp>

<http://www.sawai.co.jp/kenko-suishinka>

※ 沢井製薬ホームページからもリンクしています。



サワイ健康推進課

検索

